

- 問1 豊臣秀吉が全国統一を進める中で実施した太閤検地では、測量の基準だけでなく、収穫量を測るための道具についても統一が図られました。このとき、全国共通の基準として採用された「柵（ます）」の名称と、検地によって決定された収穫量の単位の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|----------------------------|--|
| 1. 江戸柵を用い、土地の面積に応じて「地価」を定めた。 | 2. 京柵を用い、家族の人数に応じて「口分田」を定めた。 | 3. 京柵を用い、土地の質に応じて「石高」を定めた。 | 4. 宣教師から伝わった計量器を用い、海外貿易の利益に応じて「連上金」を定めた。 |
|------------------------------|------------------------------|----------------------------|--|
- 問2 太閤検地によって「一地一作人の原則」が確立されたことで、それまで複雑に入り組んでいた社会的な権利関係はどのように変化しましたか。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|---------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 1. 武士が農村に住み、直接土地を支配する権利が強まった | 2. 農民に土地の永代売買を認める権利が与えられた | 3. 荘園領主などが持っていた重層的な権利が否定された | 4. 各地の戦国大名が独自に税率を決める権利が廃止された |
|------------------------------|---------------------------|-----------------------------|------------------------------|
- 問3 16世紀のドイツにおいて、ローマ教皇がサン・ピエトロ大聖堂の改築資金を集めるために販売していた「免罪符（贖有状）」を批判し、聖書を中心とした信仰の重要性を説いて宗教改革を始めた人物は誰ですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|----------------|----------------|
| 1. ルター | 2. カルヴァン | 3. フランシスコ・ザビエル | 4. イグナチオ・デ・ロヨラ |
|--------|----------|----------------|----------------|
- 問4 宗教改革を始めたマルティン・ルターが、当時のカトリック教会の権威や伝統を批判し、個人の信仰において最も重視すべきだと主張したものは何ですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------------|-------------|----------------|
| 1. 聖書の内容 | 2. ローマ教皇の命令 | 3. 教会の壮麗な建築 | 4. 免罪符（贖罪状）の購入 |
|----------|-------------|-------------|----------------|
- 問5 1587年、九州平定を終えた豊臣秀吉は、キリスト教の宣教師に対して国外退去を命じる「バテレン追放令」を出しました。この政策がとられた背景と、その後の実態について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. キリスト教の拡大が自身の支配の妨げになると判断して命じたが、南蛮貿易の利益は確保したかったため、実際の追放は不徹底に終わった。 | 2. 宣教師から得られる新しい技術や文化を高く評価したため、キリスト教を保護し、南蛮貿易をよりいっそう促進する目的で出された。 | 3. 農民の武装を解除する政策と同時に実施され、キリスト教徒による一揆を完全に封じ込めることで、兵農分離の体制を完成させた。 | 4. オランダを除くすべての外国船の来航を禁止する厳格な体制を整え、宣教師だけでなく外国商人もしすべて国外へ追放した。 |
|--|---|--|---|
- 問6 16世紀、イエズス会が日本を含むアジアなどの海外への布教活動を積極的に行った背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会の勢力が縮小したため。 | 2. ルネサンスの影響により、キリスト教以外の学問が禁止されたため。 | 3. 大航海時代の到来により、ヨーロッパ全域がイスラム教に支配されたため。 | 4. 島原・天草一揆の結果、幕府がキリスト教の布教を許可したため。 |
|--------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
- 問7 1543年に種子島へ漂着して日本に鉄砲を伝えた人々は、現在のどの国に属していましたか。その国はヨーロッパのイベリア半島に位置し、東側でスペインと接し、西側は広く大西洋に面しているという地理的特徴があります。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. オランダ | 2. イタリア | 3. ポルトガル | 4. イギリス |
|---------|---------|----------|---------|
- 問8 16世紀のヨーロッパで宗教改革が起こった背景と、その後の日本への影響についての説明として正しいものを選択してください。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. ルターがキリスト教を否定して新しい宗教を作ったため、行き場を失った旧来の信者が日本へ亡命してきた。 | 2. アメリカ独立戦争の影響を受けて自由主義の思想が広まり、宣教師が民主主義を伝えるために日本を訪れた。 | 3. 教会の腐敗を正そうとする動きからキリスト教の新教が生まれ、それに対抗した旧教側が布教のため日本へ来航した。 | 4. 聖地エルサレムをイスラム勢力から奪還する運動が激化し、その軍資金を得るために日本との南蛮貿易が開始された。 |
|--|--|--|--|
- 問9 桃山文化の背景とその特徴を説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 公家を中心に中国の唐の影響を強く受けた仏教文化が、都を中心に華やかに展開された。 | 2. 遣唐使の廃止に伴い、日本の風土や生活、日本人の感情に合った優雅な貴族文化が成立した。 | 3. 幕府の政治が安定した元禄時代に、上方の町人たちを中心に、人間味あふれる文芸や芸能が発展した。 | 4. 戦国大名や豪商の富と権力を背景に、金箔を多用した障壁画などの豪華で壮大な気風が生まれた。 |
|---|---|---|---|
- 問10 長篠の戦いにおいて、織田信長がとった戦術とその歴史的背景に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 身分の低い足輕を組織して鉄砲隊を編成し、集団による組織的な射撃を行うことで騎馬隊に対抗した。 | 2. 個人の武勇を重視し、熟練した武士による一騎打ちを中心に据えて武田軍の隙を突いた。 | 3. 武田軍が得意としていた鉄砲の技術を事前に模倣し、それまで主流だった騎馬戦術を放棄して勝利した。 | 4. キリスト教の宣教師から譲り受けた最新の大型大砲を城郭に配置し、遠距離からの攻撃のみで勝利した。 |
|---|---|--|--|
- 問11 安土桃山時代、豊臣秀吉は現在の島根県に位置する石見銀山を「直轄地」として自ら支配しました。秀吉が全国の主要な金山や銀山を自分の直接の支配下に置いた主な目的として、正しい説明を選んでください。 (2023年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 全国統一のための軍事費を確保し、貨幣の鑄造権を握ることで経済を掌握するため | 2. 採掘された銀をすべて朝廷に献上し、伝統的な権威を復活させるため | 3. 鉱山周辺の自然環境を保護し、過度な開発による災害を防ぐため | 4. 各地の大名に採掘権を分け与えることで、有力な大名の不満を解消するため |
|--|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|
- 問12 豊臣秀吉が全国規模で実施した「太閤検地」の内容と、その後の社会に与えた影響についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 全国でバラバラだったものさしや柵の単位を統一して田畑の面積や土地の質を調べ、予想収穫量を「石高」で表すことで、年貢の徴収を安定させた。 | 2. 有力な大名に大坂城などの築城を命じることで経済力を削り、幕府の許可なく城を修理することを禁じて大名の統制を強めた。 | 3. 農民が武士に対して反乱を起こすのを防ぐために、全国の農民から刀や弓などの武器を没収し、農業に専念させることで武士との身分を区別した。 | 4. キリスト教の布教が日本の支配の妨げになると考え、宣教師を国外へ追放するとともに、長崎を直轄領として海外貿易を独占した。 |
|--|--|---|--|
- 問13 ドイツで宗教改革を開始し、ローマ教皇の方針を批判して新たな信仰の形を提示した人物として正しいものはどれですか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------|--------------|---------|
| 1. イエス・キリスト | 2. ムハンマド | 3. マルティン・ルター | 4. マゼラン |
|-------------|----------|--------------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 京枅を用い、土地の質に応じて「石高」を定めた。	太閤検地では、地域ごとに異なっていた計量基準を統一するため、当時京都で流通していた「京枅」が全国共通の枅として採用されました。さらに、田畑の面積に土地の質（上・中・下など）に基づいた一定の数値を掛けることで、その土地から見込まれる収穫量を「石高」として算出しました。この石高が、その後の大名の領地規模や軍役の基準となりました。
問2	答え 3 荘園領主などが持っていた重層的な権利が否定された	中世の荘園制度では、一つの土地に対して荘園領主や地頭、名主など複数の人物が重なり合って権利を持っていました。太閤検地で「実際に耕作している農民」を一人だけ登録する仕組みが整ったことで、それ以外の古い有力者の権利が排除され、秀吉による一元的な統治が可能になりました。
問3	答え 1 ルター	ドイツの修道士であったルターは、金銭で罪が許されるとする免罪符の販売に対し、九十五条の論題を発表して公開質問を行いました。彼は教会の権威ではなく、聖書に記された神の言葉のみが信仰のよりどころであると主張し、これが後のプロテスタント諸派の形成につながりました。
問4	答え 1 聖書の内容	ルターは、人は善行や教会の儀式によってではなく「信仰によってのみ救われる」と説き、その信仰の唯一の根拠は神の言葉が記された聖書であるとする聖書中心主義を唱えました。この考えを広めるため、ルターは当時一般的ではなかったドイツ語による聖書の翻訳も行いました。
問5	答え 1 キリスト教の拡大が自身の支配の妨げになると判断して命じたが、南蛮貿易の利益は確保したかったため、実際の追放は不徹底に終わった。	豊臣秀吉は、九州平定の際にキリシタン大名が宣教師に土地を寄進している実態などを知り、キリスト教の結束力が自身の全国統一や支配の障壁になると危惧しました。一方で、ポルトガルやスペインとの「南蛮貿易」によって得られる経済的・軍事的利益（鉄砲の原料である硝石の輸入や銀の輸出など）は継続したいという意向があったため、貿易を優先して宣教師の活動を黙認する形となり、この時点での追放令は徹底されませんでした。この「宗教への警戒」と「貿易の重視」という矛盾が、初期の外交政策の特徴です。
問6	答え 1 ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会の勢力が縮小したため。	ヨーロッパ国内で宗教改革が広まると、プロテスタントの勢力が増し、相対的にカトリック教会の勢力が縮小しました。これに危機感を抱いたカトリック側は、組織を立て直すとともに、失った勢力を補うために海外での新しい信者獲得を目指しました。そのために結成されたのがイエズス会です。
問7	答え 3 ポルトガル	1543年に種子島に鉄砲を伝えたのはポルトガル人です。ポルトガルはイベリア半島の西端に位置する海洋国家で、16世紀にはアジア各地に拠点を築き、日本とも貿易を開始しました。その後、1549年には同じくイベリア半島のスペインから派遣された宣教師ザビエルによってキリスト教が伝えられることとなります。
問8	答え 3 教会の腐敗を正そうとする動きからキリスト教の新教が生まれ、それに対抗した旧教側が布教のため日本へ来航した。	ドイツでのルターによる宗教改革をきっかけに、プロテスタント（新教）が勢力を広げると、危機感を抱いたカトリック（旧教）側は「対抗宗教改革」を行い、教会の内部改革とともに海外への布教に力を入れました。その中心となったのがイエズス会であり、その創立者の一人であるザビエルが日本にキリスト教を伝えました。つまり、日本の戦国時代にキリスト教が伝来した背景には、ヨーロッパにおけるキリスト教界の分裂という国際的な因果関係があります。
問9	答え 4 戦国大名や豪商の富と権力を背景に、金箔を多用した障壁画などの豪華で壮大な気風が生まれた。	織田信長や豊臣秀吉によって天下統一が進められる過程で、政治や経済の主役となった大名や商人の好みが強ク反映されました。そのため、仏教色が薄まり、現世での力強さや豊かさを表現する豪華で現実的な文化が形成されました。他の選択肢は、飛鳥文化、元禄文化、国風文化の特徴を説明したものです。
問10	答え 1 身分の低い足軽を組織して鉄砲隊を編成し、集団による組織的な射撃を行うことで騎馬隊に対抗した。	織田信長は、それまでの「武士個人の技量」に頼る戦い方から、訓練された「足軽による集団戦」へと戦術を転換させました。特に長篠の戦いでは、射撃までに時間がかかるという鉄砲の弱点を補うため、多数の鉄砲隊を組織的に配置して連続的な射撃を可能にしたといわれています。この勝利は、兵農分離や兵力の組織化が進む近世的な軍制への移行を示す重要な事例です。
問11	答え 1 全国統一のための軍事費を確保し、貨幣の鑄造権を握ることで経済を掌握するため	豊臣秀吉は、強力な軍勢力を維持し、全国の検地や刀狩をスムーズに進めるための圧倒的な財力を必要としていました。石見銀山などの有力な鉱山を直轄地にすることで、莫大な銀を手に入れ、それを元手に天正大判などの貨幣を鑄造しました。これにより、日本全体の経済システムを支配する狙いがありました。
問12	答え 1 全国でバラバラだったものさしや枅の単位を統一して田畑の面積や土地の質を調べ、予想収穫量を「石高」で表すことで、年貢の徴収を安定させた。	秀吉は、それまで地域ごとに異なっていた土地の測り方や収穫量の計算法を全国共通の基準（京枅など）に統一しました。これにより、土地の生産力を米の収穫量である「石高」で一元的に把握することが可能になり、農民に対して直接、かつ確実に年貢を課す仕組みが確立されました。これが近世の封建制度の基礎となります。
問13	答え 3 マルティン・ルター	ドイツの神学者であるマルティン・ルターは、当時のローマ教皇が行った免罪符の販売に対して疑問を投げかけました。彼は聖書の内容こそが信仰の根拠であると主張し、カトリック教会から破門されながらも、新たなキリスト教のあり方（プロテスタント）を確立しました。ムハンマドはイスラム教の開祖であり、ルターの活動時期や地域とは異なります。